

第2編 播磨科学公園都市まちびらき 20周年関連イベントの記録

- 1 JDF Aフェスティバル2017
- 2 光都チューリップフェア・光都コスモスフェア
- 3 西播磨フロンティア祭 2017
- 4 テクノ再発見プロジェクト
- 5 サイクリングイベント
- 6 播磨光都サッカー場増設記念球技大会・合宿所内覧会・住民等交流会
- 7 うれあいリハフェスタ in 西播磨 2017
- 8 播磨光都増設サッカー場開場式
- 9 うれあいの祭典 西播磨うれあいフェスティバル
- 10 おとなが楽しむ社会科見学ツアー

1 JDF Aフェスティバル 2017

●概要

障害者スポーツへの理解を深めるイベントとして播磨光都サッカー場で開催された。

障害者や健常者による 50 チーム約 1,000 人によりサッカーによる交流戦が行われ、ASハリマアルビオンなどのなでしこリーグ2部チームや、県内外の少年サッカーチームなどが集まり、熱戦が繰り広げられた。

また、障害者サッカーを体験するコーナーでは、参加者がアイマスクをつけてブラインドサッカーに挑戦したり、つえを使うアンプティサッカーを体験した。

●日時

平成 29 年 3 月 11 日（土）、12 日（日）
9 時～17 時

●主催

一般社団法人日本ろう者サッカー協会

●場所

播磨光都サッカー場

●内容

(1) 障害者サッカー体験

ブラインドサッカー、アンプティサッカー、
ろう者サッカー、車いすサッカー

(2) インクルーシブフットボール

障害者・健常者の混成チームによるサッカー

(3) なでしこ交流戦

なでしこ2部リーグ所属5チーム

(4) 少年サッカー大会

県内外の24チーム

(5) 大人のミニサッカー大会

県内外の15チーム

(6) ご当地グルメ

佐用町ホルモンうどん、笹が丘荘の豚汁など
12店舗

(7) その他イベント

バブルサッカー体験、サッカークリニック、
仮面作りワークショップ、AED 使用方法とはし
ご車体験、バス乗車体験、映画「アイコンタ
クト」上映会、ダウン症の画家宇田光志氏の
絵画展、リズムトレーニング、障害者作成作
品販売、フリーマーケット、手話体験ほか



2 光都チューリップフェア・光都コスモスフェア

●概要

(1) 光都チューリップフェア

周辺のボランティア団体により植え付けられた約 30,000 本のチューリップが咲く光都チューリップフェアは、この時期恒例のイベントとして周辺市町の住民に広く定着し、毎年 20,000 人を超える来園者が訪れている。

(2) 光都コスモスフェア

平成 29 年度には、光都チューリップ園の休園期間を利用し、秋口の都市に、彩りとにぎわいを創出するため光都コスモスフェアを実施した。

来園者が見やすいよう、背丈の低い品種である「ソナタ」を選び、光都インターブリスケールの園児の助けを借りて 20,000 本を植え付けた。

開園期間中には写真コンテスト及び写生大会を実施した。

●日時

光都チューリップフェア

平成 29 年 4 月 8 日（土）～30 日（日）

光都コスモスフェア

平成 29 年 10 月 5 日（木）～29 日（日）

●主催

光都チューリップフェア：播磨高原広域事務組合

光都コスモスフェア：兵庫県企業庁

●場所

光都チューリップ園

●来園者数

光都チューリップフェア：約 20,000 人

光都コスモスフェア：約 1,800 人

●当日の状況



【光都チューリップフェア】



【光都コスモスフェア】※写真コンテスト金賞「青空とコスモス」

3 西播磨フロンティア祭 2017

●目的

交流による「元気・西播磨」をめざし、播磨科学公園都市のにぎわい創出と西播磨地域の連携・交流を深めるため例年開催。

●日時

平成 29 年 4 月 29 日（土・祝）10 時～15 時



●場所

芝生広場

●主催

兵庫県西播磨県民局

●内容

(1) 第 16 回出る杭大会 [59 団体]

夢を持って新しい分野にチャレンジしている人や、地域を元気にしようとする取り組みをしているグループ等の活動発表と交流の場

10:00～ 開会式（宣誓、来賓紹介等）

10:30～ 各ブースでの実践活動発表、ステージパフォーマンス

14:30～ 閉会式（出る杭大賞等各賞の表彰式、受賞者あいさつ）

(2) 第 6 回イケ麺グランプリ in 西播磨 [16 団体]

地域の食材を利用したご当地麺料理により地域づくりを行っている団体が集合し、まちおこし活動やオリジナルメニューの人気等を競うコンテスト

(3) 西播磨ふるさとバザール [45 団体]

西播磨地域の新鮮な農産物や特産物の即売、福祉バザー等

(4) 親子ふれあいキッズランド、安全・安心コーナー

芝生広場での段ボールハウスづくり、クラフト教室、警察・自衛隊のミニ制服試着コーナー等

●来場者数

約 18,000 人



●企業庁の取組

(1) 新鮮野菜の直売コーナー

光都周辺の 5 農家の協力を得て出展



(2) ASハリマアルビオン現役選手トークショー

播磨科学公園都市のにぎわいづくりに向けた取組の一環として、当イベントの実施にあわせオプトピアに「ALBION PRブース」を設けるとともに、ASハリマアルビオンの岸田社長及び現役選手（村川紗貴選手、山田真帆選手）のパフォーマンス・トークショーを実施



4 テクノ再発見プロジェクト

●目的

まちびらきから 20 年、社会経済情勢の変化や技術革新の影響もあり、計画時の想定どおりではないながらもまちづくりを進めてきた。

県としては、引き続き定住人口の増加施策に努めるが、まちの魅力を高めることで、まずは交流人口の増加をはかるべきと考え、サッカー場の増設、花畑の充実、有機農産物等直売所の開設など、新たな施策を実施している。

これまで整備してきた建物など、このまちには誇れる資源が数多くあり、これらのまちの魅力を発信する地域資源を住み・学び・働き・訪れる方々に、より有効に、より楽しく使っていただくことが重要と考え、連続ワークショップを実施し、テクノのまちづくりのタネを見つけ、その育て方を話し合った。

●主催

参加した皆さん

兵庫県企業庁播磨科学公園都市まちづくり事務所

●内容

【まちのタネ編】

(1) 第1回ワークショップ

日時：平成29年7月16日（日）

テーマ：播磨科学公園都市が持っている「まちづくりのタネ」を見つけて、これから育てていこう。

内容：6班に分かれ、「まなぶ」「やすらぎ」「つどう」「あそぶ」「たべる」「すむ」をテーマに、まちのタネを探した。

- ・芝生広場で野外パーティをしたい（ご飯を食べたり、星を見たり、テント泊をしたい）
- ・夏はテクノで虫を捕りたい（新種発見できるかも）
- ・Spring-8は何をしているか知りたい（行ったことない人もいる。周囲をマラソンやサイクリングして、どれだけ大きいか感じてみたい）
- ・野外音楽会をしたい
- ・豊かな自然を感じて光都でスローライフを送りたい

→やれることからやってみよう！



(2) テクノ夢のナイトパーティ

日時：平成29年8月11日（金・祝）

～12日（土）

テーマ：星をみる！酒を飲む！虫をみつける！テント泊

内容：・芝生広場にテントを張って、みんなで食べ物を持ち寄ってナイトパーティ
・女の子とお母さんがテントを飾り付け
・星の専門家に来てもらって、テクノの満天の夜空の観察
・希望者は芝生広場でテント泊
・朝はラジオ体操
・虫取り、スイカ割り、流しそうめん、移動販売車など



(3) てくてく★プラテクノ

日 時：平成 29 年 9 月 4 日（月）

内 容：・テクノで一番有名な Spring-8 を理化学研究所の職員の案内で見学
→普段は入れない建物の屋上から Spring-8 を見せてもらい、形がよく分かった！
・次回イベントのために、栗の木谷公園に自生する栗を探す
→名前のとおりたくさんのお栗を発見した！



(4) テクノ秋の里山パーティ

日 時：平成 29 年 10 月 7 日（土）

テーマ：都市にある身近な山を見渡せば、秋の味覚が隠れています。
そんなまちのタネ「都市の里山」を探します。

内 容：・薪を拾ってきて火をおこし、焼き栗、ゆで栗、焼き芋などを楽しむ
・もちよりパーティ
・栗の木谷公園に栗拾い
→光都プラザや近所の公園の使い方をインプット（たき火をしてよいとは思わなかった）



(5) テクノまちのみらい子どもワークショップ

テーマ：未来に残したい光都のいいところを探し、「まちのみらいかるた」を作る

対 象：播磨科学公園都市で学ぶ小学生・中学生

第1回：平成 29 年 11 月 8 日（水）

第2回：平成 29 年 11 月 22 日（水）

→「光都のいいところ」を題材にした、楽しいかるたができた。



(6) まちびらき 20 周年記念シンポジウム参加

日 時：平成 29 年 12 月 10 日（日）

内 容：子どもワークショップ参加者の代表者が、光都のいいところを元気に発表した。



(7) テクノまちのみらいかるたであそぼう

日 時：平成30年1月17日（水）

テーマ：「まちのみらいかるた」を作ってあそび
ましょう

対 象：播磨科学公園都市が気になるひと

内 容：・「手作りかるたセット」を使ってかるたを作った。
・発注するかるたのデザインを考えた。
・県立大学のおにいさんとボードゲームで遊んだ。
・光都プラザ空きスペースで過ごすのに、あるほうがいいもの考えた。

→ボードゲームやかるたで遊んで、この空きスペースをみんなで使うイメージができた。



【土づくり編】

(8) 「光都であそぶ」を考える会

日 時：平成30年3月3日（土）

テーマ：「どんな活動があるのか」「どんなひとがいるのか」をお互いに知り合い、つながる機会とする。

対 象：光都でなにかやりたい人
光都にすんでいる人
光都のちかくにすんでいる人
光都の情報がほしい人

内 容：・「まちのタネ編」のふりかえり
・光都周辺、光都プラザ周辺、光都プラザ空き店舗を利用してできること



(9) 第2回「光都であそぶ」を考える会

日 時：平成30年3月18日（日）

テーマ：光都プラザ空き店舗コミュニティスペース化実験期間カレンダーづくり

内 容：光都プラザ空き店舗のコミュニティスペース化の試行期間（5～6月）のイベントカレンダーづくり

5 サイクリングイベント

①まちぶらサイクリング・フォトラリー

●概要

播磨科学公園都市の周知と、まちの雰囲気を感じ取るために、平成 28 年度に引き続き「光都スポーツ DE ふれあいたい会」の企画の一つとして、都市内を自転車でゆっくり周遊するポタリング（自転車で散歩）イベント「まちぶらサイクリング・フォトラリー」を開催した。

参加者は昨年を上回る 40 名で、大半が親子連れであり、小学校低学年や未就学児が多かった。お父さんお母さんに励まされながら、こどもたちが上り坂を頑張って走る光景が見られたほか、コース上に設置したフォトポイントにおいて親子で写真撮影するなど、約 1 時間のサイクリングで親子がふれ合う良い機会となった。

また、スタート前には警察による自転車交通安全教室の受講を必須としており、自転車の交通ルールを知る機会にもなった。

今回はまちびらき 20 周年事業として、他のサイクリングイベントと同時開催したことから、各イベント合わせて約 8,000 名の参加・来場があり、播磨科学公園都市が大いににぎわった一日となった。

●日時

平成 29 年 10 月 1 日（日）10 時～15 時

●場所

- (1) 発着点
芝生広場
- (2) フォトポイント
播磨光都サッカー場、センターサークル、西播磨総合庁舎、メガソーラー（住宅地）

●主催

光都スポーツ DE ふれあいたい会実行委員会

構成員：(株)ウエスト神姫、NPO 法人西播磨サッカー協会、龍野マウンテンバイク協会、たつの市、上郡町、佐用町、播磨高原広域事務組合、兵庫県西播磨県民局、兵庫県企業庁

●内容

- (1) 都市内に設置したフォトポイント（4 箇所）において携帯電話やデジカメ等で写真撮影。ゴール時に各ポイントの撮影が行われていることを確認の上、参加賞を贈呈

(2) 参加中のご家族・お仲間の様子や風景等を撮影し、その写真を Facebook「播磨科学公園都市」に投稿もしくは企業庁宛にメール送信したされた方の中から、抽選で賞品を贈呈。

(3) 本イベント参加前には、警察による交通安全講習会（10 分程度の座学、自転車点検）を実施し、受講後にそのままスタート。



②ランニングバイク選手権 in 光都

●概要

平成 28 年度に引き続き、ペダル・ギアが無く、足で地面を蹴ってその力のみで前に進む自転車「ランニングバイク（キックバイク）」のレース大会を未就学児を対象に開催した。

参加者の中には、全国各地の大会参加によって鍛え上げられたスピード、テクニックで疾走する者もあり、大人顔負けの激しい競争が繰り広げられたほか、観戦するお父さんやお母さんが、子ども以上に熱くなって応援するなど、親子で盛り上がった大会となった。

また、光都プラザ前芝生広場で同時開催した「西はりますスポーツフェア」においてはランニングバイクの乗車体験を行い、初心者から上級者まで、全ての未就学児がランニングバイクを楽しめる機会を用意した。

●日時

平成 29 年 10 月 1 日（日）9 時～15 時 30 分

●場所

上郡消防署新都市分署隣地

●主催

光都スポーツ DE ふれあいたい会実行委員会

●運営

龍野マウンテンバイク協会

●内容

- (1) 年齢別 (2 歳、3 歳、4 歳、4 歳ガールズ、5 歳、6 歳、5・6 歳ガールズ) に予選から決勝までのトーナメント
- (2) 年齢別 (3 歳、4 歳、4 歳ガールズ、5・6 歳、5・6 歳ガールズ) に 3～5 周のロングライドチャレンジ (周回レース)
- (3) タイムトライアル
年齢別 (同上) に 1 人ずつのタイム競走
- (4) 4 名 1 チームによるチームリレー



③ 西はりまロードサイクリング

●概要

播磨科学公園都市圏域定住自立圏を構成する2市2町（たつの市、宍粟市、上郡町及び佐用町）とともに、定住自立圏連携事業及びまちびらき20周年事業として開催。

地域の魅力発信やにぎわいの創出を目的として、播磨科学公園都市を起点に、西はりま地域の景観や風土、文化等を活かし、自転車を楽しみながら地域の魅力を体感できるツーリングイベントとした。

参加者は県内各地のほか県外から、年齢も10歳代～60歳代と幅広く154名の参加があり、自治体ごとにコース上に設置した休憩・おもてなし所に立ち寄りながらツーリングを楽しみ、西播磨地域の魅力を体感できる機会となった。

また、発着点である播磨科学公園都市光都プラザ前芝生広場でもにぎわいイベント「西はりまスポーツフェア」を同時開催し、非常に盛り上がりを見せたイベントとなった。

●日時

平成29年10月1日（日）9時～15時

●場所

- (1) 発着点（メイン会場）
芝生広場
- (2) コース
メイン会場～たつの市～宍粟市～佐用町～上郡町～メイン会場（約77km）

●主催

西はりまロードサイクリング実行委員会

構成員：播磨科学公園都市定住自立圏（たつの市、宍粟市、上郡町、佐用町）、2市2町スポーツ推進員、兵庫県西播磨県民局、兵庫県企業庁



●内容

- (1) タイムを競うレースではなく、景観や風土等を楽しむサイクリングイベント
- (2) 地元の特産品を提供する休憩・おもてなし所「交流ゾーン」をコース上に設置

市町名	場所	提供特産品
たつの市	道の駅しんぐう	梅飴
宍粟市	土万ふれあいの館	しょうゆまんじゅう
佐用町	町役場南光支所	しかコロッケ
上郡町	町役場	アイスクリーム



④ 西はりまスポーツフェア

●概要

播磨科学公園都市圏域定住自立圏を構成する2市2町（たつの市、宍粟市、上郡町及び佐用町）などとともに、定住自立圏連携事業及びまちびらき20周年事業として開催し、ダンスなどのステージイベント、普段はなかなか体験することのできないバブルサッカーやフットダーツなどのスポーツ体験のほか、西播磨地域の特産品やB級グルメの販売を行った。

当日は、光都プラザテナント会主催のフリーマーケット（70店舗出店）や、播磨科学公園都市を起点に、自転車を楽しみながら西播磨地域の魅力を体験できる「西はりまロードサイクリング」などを同時開催したことから、同サイクリング参加者の家族なども多数来場し、想定を大きく上回って約8,000名の来場があった。

●日時

平成29年10月1日（日）10時～15時

●場所

芝生広場

●主催

西はりまスポーツ大会連携事業実行委員会

構成員：播磨科学公園都市定住自立圏（たつの市、宍粟市、上郡町、佐用町）、2市2町スポーツ推進員、兵庫県西播磨県民局、兵庫県企業庁

●内容

（1）ステージ

ミュージカル、ダンス、世界チャンピオンによるハイパーヨーヨー

（2）スポーツ体験

リズムジャンプ、ランドスキム、サップヨガ、スポーツチャンバラ、バブルサッカー、フットダーツ、スケートボード、ストライダー

（3）特産品・グルメ販売

たつの市：たこばん、醤油やきそば
宍粟市：鶏唐揚げ（山椒醤油仕込）
上郡町：モロどん、円心まんじゅう
佐用町：ホルモン焼うどん

（4）その他

県及び各市町のゆるキャラが登場



6 播磨光都サッカー場増設記念球技大会 ・合宿所内覧会・住民等交流会

●概要

スポーツの秋に、播磨科学公園都市の魅力を外に発信するとともに、都市内の住民、通勤・通学者やその家族等との交流・親睦の場として開催した。

●日時

平成 29 年 10 月 14 日（土）10 時～14 時 30 分

●主催

光都スポーツ DE ふれあいたい会実行委員会

●内容

(1) 播磨光都サッカー場増設記念住民球技大会

「住民等対抗グラウンド・ゴルフ大会」は都市内の住民、勤務者、学生等による 16 チーム（1 チーム 6 人）が参加し、第 4 サッカー場で実施した。

全員がグラウンド・ゴルフ初心者であったため、予定の競技時間を超過してしまい、11 ホールまでの成績で順位を決定した。

全チームに、都市内の企業やお店からお寄せいただいた豪華賞品が当たり、参加者からは笑顔がこぼれた。



【住民等対抗グラウンド・ゴルフ大会】



【サッカーボール等を使った簡単競技】



(2) 合宿所内覧会・住民等交流会

播磨光都合宿所に場所を移し「合宿所内覧会・住民等交流会」を開催した。参加者は軽食を取りながら交流し、合宿所の各部屋やバーベキューサイトの見学、県立大学ストーリーオーケストラ部による演奏や同大学ゲーム同好会によるゲームを楽しんだ。

最後にはロビーで大抽選会を実施し、豪華賞品とおみやげをゲットして解散した。



7 ふれあいリハフェスタ in 西播磨 2017

ふわふわ遊具、段ボール迷路、ディズニーツグズが当たるスタンプラリーなど

●概要

西播磨総合リハビリテーションセンターの利用者と近隣住民とのふれあい・交流を目的に平成 20 年から毎年開催。今回は播磨科学公園都市まちびらき 20 周年事業として、例年にもまして盛大に開催された。

当日は雨天だったが、チラシやポスターを見て初めて来場した家族も多く、歌あり、ダンスあり、ヒーローショーありの多彩なステージプログラムを楽しむとともに、福祉用具の見学、神経難病・リハビリの相談、リハビリ療法部のバザー、患者団体の活動紹介、障害者スポーツの体験などを通じて、リハビリテーションセンターの機能や魅力を知っていただく絶好の機会となった。

また、新たに女子プロサッカーチームのASハリマアルビオンのトップ選手など総勢 74 名の特別参加によるサッカーイベントを開催した。日本代表選手との交流もあり、ゆるキャラ達による抱腹絶倒のミニサッカーもありで、ふれあいスポーツ交流館には早朝から駆け付けた地域のチビっ子たちの歓声が響き渡った。



【サッカーイベント】



【ジャグリング】



【ヒップホップダンス】

●日時

平成 29 年 10 月 15 日 (日) 10 時～16 時

●場所・主催

県立西播磨総合リハビリテーションセンター

●内容

- (1) メインステージ
コメディージャグリングショー、バンド演奏、合唱、和太鼓、地元ヒーローショー、キッズよさこい、キッズダンスなど
- (2) 研修ホール内ステージ
歌謡ショー、フルート演奏、ゆるキャラ大集合、キッズソングなど
- (3) スポーツ交流イベント
女子プロサッカーASハリマアルビオントップ選手との交流、チャレンジサッカー、ゆるキャラサッカー、障害者スポーツの体験など
- (4) 医療と福祉
神経難病相談コーナー、患者家族会紹介展示、福祉用具・車両の展示など
- (5) 特選グルメ・特産品販売
カレー、にくてん、お寿司、手作りパン、たこ焼き、焼き菓子、飲み物、ソフトクリーム、花苗、野菜、くだもの、特産黒枝豆など
- (6) キッズコーナー



【福祉車輛の展示】



【ホール内のにぎわい】

8 播磨光都増設サッカー場開場式

●概要

スポーツを核とした交流人口をさらに増加させるため、播磨光都サッカー場に第3サッカー場（大人用1面）、第4サッカー場（こども用1面）、第2多目的グラウンド（フットサルコート3面）及び148名が宿泊可能な合宿所を新たに整備した。

開場式当日はあいにくの雨模様であったが、第3サッカー場で行われたなでしこリーグ所属のINAC神戸レオネッサとASハリマアルビオンの開場記念試合では、多くのこどもたちやサッカーファンで盛り上がった。

また、第4サッカー場では、2日間にわたりキッズオープニングカップが開催され、関西地方の強豪小学生8チームによるリーグ戦が行われた。

●日時

平成29年10月28日（土）

- ・開場記念式典 13:00～13:40
- ・開場記念試合 13:45～15:00
- ・キッズカップ 10:00～15:00

平成29年10月29日（日）

- ・キッズカップ 9:00～12:00

●場所

播磨光都第3サッカー場

播磨光都第4サッカー場

●内容

(1) 開場記念式典

- ・式辞
- ・来賓者祝辞
- ・来賓者紹介
- ・祝電披露
- ・テープカット

(2) 開場記念試合

INAC神戸レオネッサ

VS ASハリマアルビオン

(3) キッズオープニングカップ

小学6年生8チームによるリーグ戦



9 ふれあいの祭典

西播磨ふれあいフェスティバル

●概要

毎年一回、兵庫県内の各地域持ち回りで開催している「ふれあいの祭典」が、まちびらき 20 年を迎える播磨科学公園都市を会場に、西播磨地域で開催され、平成 30 年の県政 150 周年に向け、県民とともに「未来の兵庫づくり」へつなげる契機として位置づけるとともに、地域の魅力と「ひょうごの元気」を発信した。

当日はあいにくの悪天候にも関わらず 2 日間合わせて約 3 万 2 千人の来場者でにぎわった。

●日時

平成 29 年 10 月 28 日 (土)

10 時 30 分～16 時 30 分

29 日 (日)

10 時 30 分～16 時



●場所

芝生広場ほか

●主催

西播磨ふれあいフェスティバル実行委員会



●内容

(1) メイン会場

ア ステージイベント

会場内に設置した特設ステージで、西播磨や兵庫県内から集まった様々な団体がパフォーマンスを披露し、会場を盛り上げた。

1 日目 全県ふれあいステージ

オープニングセレモニー

お楽しみスペシャルステージ

県民ふれあいスーパーステージ

ひょうご五国のわらべうた (合唱)

2 日目 西播磨ふれあいステージ



イ 会場出展イベント

県内各地から、美味しいグルメや、特産物、楽しく体験できるコーナーなど多種多様なブースが出展した。

○西播磨地域PRコーナー

西播磨の素材を使った食品、手延素麺や醤油、塩、農産物などの特産品の販売、西はりま天文台等周辺施設の案内、西播磨地域のまちづくりや観光情報などを広く紹介



○兵庫のご当地グルメコーナー

県内各地域の「ご当地グルメ」を会場に集めて販売し、食を通じたまちおこしへつなげたほか、県内各地域の特産品や食を広く紹介



○ひょうごPRコーナー

暮らしに役立つ県政情報や防災・減災、安心・安全に関する内容を体験や展示で分かりやすく発信

○健康福祉まつり

県民一人ひとりが、健康や福祉について広く理解し、共に考え、多くの方が体験

○ひょうごエコフェスティバル

環境保全団体や企業による展示や体験コーナー等を通じて、環境について学べるイベントを展開

○県政150周年記念PRコーナー

慶応4年(1868年)に兵庫県が設置されてから平成30年度(2018)は150周年となることを記念し、県政150周年のPRを実施

(3) サブ会場

ア 西播磨総合庁舎

○囲碁・将棋チャレンジコーナー

文化振興の一環として、来場者がプロ棋士にチャレンジ対戦できる「対局コーナー」や入門コーナーなどを設置

○西播磨スイーツコーナー

8月に行われた西播磨スイーツコンテストにおける受賞作品を販売



イ 播磨高原東小学校

○熱気球搭乗体験(悪天候のため28日のみ)

上空から西播磨地域を眺める熱気球搭乗体験



○兵庫県高等学校工業教育フェア(ロボット競技大会)

高校生たちが日頃の学習の成果を披露



(4) サテライト会場

ア 播磨科学公園都市内の施設見学

供用開始 20 周年を迎える SPring-8 や 5 周年の SACLA をはじめ、県立粒子線医療センターなど世界に誇る施設の見学ツアーを実施

イ 播磨光都増設サッカー場開場式【再掲】

●来場者数

約 32,000 人

●企業庁の取組

(1) ブース出展

光都周辺の 4 農家が新鮮野菜や加工品販売ブースを出展したほか、県立大学理学部の学生有志が AI とのゲーム対戦等、光都学園がたこ焼き販売、光都住民自治会有志がおもてなしコーナーを設置した。

また、立地企業 6 社が、自社事業を PR するブースを出展した。



(2) やさしいサイエンスセミナー

オプトピアのシアターで、兵庫県立大学理学部の先生が、生命や物質にかかる謎を分かりやすく解説した。

10月28日(土)

①11:00～12:00「生命を支えるタンパク質

分解のはたらきと仕組み」

②14:00～15:00「量子力学の世界 粒子の波動性から高温超伝導まで」

10月29日(日)

③11:00～12:00「身近にいるエイリアン? 魚がかくしもつ第2のあごのなぞを SPring-8 でときあかす」

④14:00～15:00「あなたの知らないプラナリアの世界」



【生命を支えるタンパク質 分解のはたらきと仕組み】



【身近にいるエイリアン? 魚がかくしもつ第2のあごのなぞを SPring-8 でときあかす】

10 「おとなが楽しむ社会科見学」ツアー

●概要

NEXCO西日本、理化学研究所及び神姫バスツアーズ(株)と連携し、普段は入ることができない現場に潜入する「おとなが楽しむ社会科見学」ツアーを開催した。

進化する日本の技術、豊かな自然に恵まれた播磨科学公園都市の魅力を堪能するツアーで、見どころは、E29 中国横断自動車道姫路鳥取線のトンネル工事現場、世界最高性能の大型放射光施設 SPring-8 と X線自由電子レーザーSACLA、世界的に著名な建築家(磯崎新氏、安藤忠雄氏等)が作り上げた播磨科学公園都市の建築物。これらを専門家の説明を聞きながら間近で見学した。

●実施日

①平成 29 年 11 月 7 日(火)

参加者 42 人、乗降車地：加古川、姫路

②平成 29 年 11 月 14 日(火)

参加者 39 人、乗降車地：三宮、明石、三木

③平成 29 年 11 月 28 日(火)

参加者 40 人、乗降車地：加古川、姫路

●行程

乗車地→姫路鳥取線国見山トンネル
→播磨科学公園都市→SPring-8・SACLA→降車地

●参加費 6,800 円(昼食付き)

●主催 神姫バスツアーズ(株)

協力 兵庫県企業庁、NEXCO 西日本、
理化学研究所

●主な内容

(1) 姫路鳥取線

国見山トンネル(L=2,709m)の工事現場において、ダイナマイトで岩盤を砕く映像などを見ながら、NEXCO西日本の技術者からトンネルの仕組みや建設方法などについて分かりやすく説明を受けた後、切羽まで移動し、ベルトコンベアで砕いた岩を運び、コンクリートを吹き付けて壁を補強する作業を見学した。



【国見山トンネル切羽付近】

(2) SPring-8、SACLA

SPring-8 では、蓄積リング棟の中を歩き、研究者の間近で大きな実験装置や精密な機械を見学した。説明スタッフから装置の原理やこれまでの研究成果などについて分かりやすく説明を受け、参加者は熱心に質問をされていた。



【SPring-8 蓄積リング棟内】



【SACLA 実験研究棟】

(3) 播磨科学公園都市

都市内のデザイナーズ建築を車窓から見学した後、「星の広場」から都市の全貌を俯瞰し、第4サッカー場では安藤忠雄氏設計の管理棟を見学した。



【第4サッカー場】

